

自動車や家電に代表される日本の工業製品の品質は、世界一と称賛されている。これを支えているのは製品の信頼性評価である。信頼性評価は、過酷な使用状況や気象条件な

未来を開く

青森産技センター報告

—2—

どに耐えられるかを試し、品質を保証することである。信頼性評価で合格したもののだけを商品として市場に出している。

高性能の振動試験装置

信頼性評価で品質保証

日本の製造業はこの品質保証のため、入念に評価試験を行っている。これまで県内に

コスト削減、競争力強化へ

は信頼性を評価する試験装置が十分にそろっておらず、県内の製造業は県外に出て試験していた。このため、時間、コスト、労力が大きな負担となっていた。

そこで、県産業技術センターは、被災地域をはじめとする県内企業の製造コストの削減と品質向上による競争力の強化を図るため、東日本大震災復興推進基金を活用して評価拠点の整備を進めている。この一環で、八戸地域研究所（八戸市）に複合環境試験装置を導入した。この装置は部品や製品に振動を与え、ダメ

ージの有無を評価する、いわゆる「振動試験」を行うものである。

振動試験は高温、低温、高湿など過酷な環境下での実施も可能で、近年自動車業界などで求められている新しい国際規格にも

対応できる。また、鉄道やトラックで製品を出荷する場合、実際に受ける振動を想定した輸送試験も可能で、魚や農作物などの食品を輸送する際の品質評価にも応用できる。今回導入した装置は、東北地方の公設試験研究機関が所有する振動試験装置の中では最大級の能力を有する。このことから、電子部品、家電、自動車、鉄道、航空宇宙分野の各種製品や、輸送貨物など幅広い対象の試験が可能である。



八戸地域研究所に導入した振動試験装置

当研究所がある三八地域の製造業出荷額は、県内の3分の1を占める。試験装置の導入により、製品開発期間を短縮させるとともに、製品の品質強化に貢献していくことを目指している。この装置は4月から開放し、企業の利用を受け付けている。
(八戸地域研究所機械システム部 村井博)

東奥日報 平成28年4月15日掲載

この記事は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。